



～ 日本倶楽部会長ご挨拶 ～

このたび、会長に就任いたしました小村です。よろしくお願ひいたします。

井嶋前会長の4年間は、当倶楽部の激動の時代でありました。コロナ禍で人々の行動様式や考え方が激変いたしました。そうした中でも当倶楽部は、講演会ははじめ各クラブ活動等が粛々としかも活発に行われ、この危機を乗り切ってきました。お蔭様で、他倶楽部と比べても誇れる活動水準だったと思います。

また会館建替え問題という50数年ぶりの大問題の解決を図らなければならない時代でした。井嶋会長の冷静で的確な判断と指導力で無事乗り越えることができました。井嶋会長、長年のご指導ありがとうございました。

井嶋会長の後を継ぐのは大変荷が重いのですが、微力ですが精いっぱい務めて参りますのでよろしくお願ひします。

総会でも報告がありましたように、幸い会館建替え問題の大枠が決まりました。三菱地所との交渉も双方の満足のいく結果が得られました。当倶楽部にとっては、50年先までならんだ健全な財政基盤ができました。これからは、これに魂を入れるときであります。

そのため、新しい器にふさわしい新しい会員を多く迎えることです。最近女性会員の方々も増えて参りました。また民間の若い経営者の方々も参加してくれるようになりました。今後さらにこの勢いで新しい仲間が増えていくように努めなければなりません。

また、当倶楽部は120年以上の素晴らしい歴史と伝統がありますが、それで満足することなく、その上に時代の要請にこたえた魅力ある倶楽部であらねばなりません。今、日本倶楽部は面白い、刺激があるという倶楽部にしていかなければなりません。

これから二度に渡る引越しのため、会員の皆さんには何かとご不便をおかけすることになりますが、ご理解とご協力のほどお願ひします。

新しい理事の構成も若返りました。戦前生まれは私と両副会長の三人であります。戦後生まれの建替えの受益者世代の皆さんに大いに働いてもらおうと思っております。

会員各位のご協力をお願いして私の就任あいさつといたします。



令和5年6月6日
日本倶楽部会長 小村 武

新任ご挨拶

日本倶楽部副会長 嶋津 昭

私が日本倶楽部に入れていただいたのは2004年、尊敬する大先輩奥野誠亮先生からの直接のお誘いを頂き、恐縮しまして直ちに手続きをいたしました。それ以来講演委員会、会員委員会のお手伝いを細々といたしまして、最近中田一男先輩のご指示により会員増強委員会の委員長の大役を仰せつかり委員の皆さんとともに懸命の努力をしているところです。この度の副会長の就任は青天の霹靂とも言うべきことでした。当日本倶楽部の最大の課題は会館の建て替えです。「新しい酒は、新しい革袋に入れるべし」とは聖書の言葉のようですが日本倶楽部もまたこの建て替えを絶好の契機として新しい日本倶楽部に生まれ変わり発展することを目指したいと思ひます。これもまた、会員の皆様の様々な思ひを反映させたものでなければならぬことも当然です。小村会長をお支えして微力をつくしてまいりますので、皆様よろしくお願ひ申し上げます。



新任ご挨拶

日本倶楽部副会長 高橋 厚男

この度副会長を拝命いたしました高橋です。どうぞよろしくお願ひいたします。

世界中を襲ったコロナパンデミックもようやく終息を迎えつつあります。当倶楽部は、設立趣意書で「社交上の親和を図ることが目的」と明記されていますが、会員相互の交流の機会を一層深めることをめざしております。当倶楽部がその力を十分に発揮できる時を迎えていると思ひます。広報を担当しておりましたとき、会員おひとりお一人の言葉をできるだけ、広報誌、ホームページ(会員専用ページ)等で掲載、会員の皆様に共有して抱けるように努めました。様々なクラブ活動、同好会等々の場で、会員同士の交流の機会が一層深まりますよう、努めて参りたいと思ひます。



～ お知らせ ～

- 新型コロナウイルス感染症については、5類移行後も新規感染者数が増加しているようですが、新たな注意情報も発出されておりませんので、当倶楽部としては現状の対応を継続し、引き続き注意深く対応することとしていただきたいと思います。
- 夏季休館(閉館)は、**8月11日(金)から8月15日(火)**までとさせていただきます。
- 秋季懇親会を4年ぶりに**10月6日(金)17時**から開催いたしますので、皆様ご参加くださいますようお願い致します。
- 皆様におかれては、猛暑がつづいておりますので、くれぐれもご自愛頂きますようお願い致します。